

ニチイキッズ大津京町保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の 自己評価	評価期間	2024年2月1日（木）～3月13日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年3月14日（木）
	実施方法	職員の自己評価を基に、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	職員が保育理念「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」を理解し共有しながら、子ども主体の保育を展開していくよう努力していった。自然物を育て食に対する興味関心を高めた。 戸外活動を積極的に取り入れながら、自然の中で思いっきり身体を動かし、心と身体を健やかに保つようにした。 子どもの最善の利益を尊重した丁寧な保育を、職員全体で確認し、適切な関りの中で一人ひとりが安心できる環境を整えた。
子どもの発達援助	定期的に、身体を動かすリズム遊びを取り入れ、静と動のメリハリを保ちながら全身運動をする時間を保障した。 子どもの成長に合わせた新しいおもちゃを職員間で相談検討し、整えていくことができた。今後も引き続き、やりたいことを子どもたちが選んですぐに遊べる環境をさらに充実させていきたい。
保護者に対する支援	保護者と保育者が子どもを真ん中に据え、その成長を共有、共感できるよう努めた。日々の細かな保護者の思いを汲みとりながら、丁寧なコミュニケーションをとり、支援の必要な家庭への配慮も行った。
保育を支える組織的基盤	安全の再確認と保育の質を向上させるため、安全研修や子どもへの関わり方の研修を中心に力を入れ、職員で学びを共有するようにした。クラス保育の中でのチームワークと共に、クラスを超えた縦割り保育での連携と、環境の見直し、保育内容の充実引き続き力を入れていく。

総評
子ども一人ひとりの姿、関わり方など明文化し共有することで、一人ひとりに寄り添った丁寧な保育を展開することができた。また、保護者からのニーズに応え、ひと家庭ずつの思いを丁寧に汲み取り対応する中で、保護者との信頼関係を構築し、保育者自身の成長にもつながった。 次年度に向けて、地域との繋がりを意識しながら、地元の方と関わる機会を増やしていくとともに、子どもを真ん中に据え子育てを共有していけるよう全力で保育をしていきたい。